

令和4年12月

橋本市教育委員会定例会会議録

令和4年12月20日

教育委員会定例会会議録

開催日時 令和4年12月20日(火) 午前9時30分～

開催場所 教育文化会館 4階 第5展示室

出席者 教育長職務代理者 中尾 悦子
委員 田中 敬子 藪下 純男 吉田 元信
教育長 今田 実

出席職員 教育部長 堀畑 秀明 教育総務課 課長 浦 貴則
学校教育課 課長 森口 伸吾 生涯学習課 課長 萱野 健治
中央公民館 館長 大西 基夫 教育相談センター
参事 阪口 浩章 センター長 辻脇 昌義
教育総務課 課長補佐 中林 正 教育総務課
学校教育課 企画総務係長 小西 啓介
主任指導主事 井上 佳子

1 開会

2 前回会議録の承認について

3 会議録署名委員の指名について

4 報告事項

報告第1号 令和4年度杉村奨学褒章及び田中久美子すこやか褒章受賞者の選考について

報告第2号 令和4年度森脇慶一郎善行褒章受賞者の選考について

5 付議事項

6 その他

協議事項

連絡事項

教育長 おはようございます。
全員おそろいですので、12月定例会を開会します。
前回の会議録の承認について吉田委員お願いします。

吉田委員 適正に記述されていました。

教育長 ありがとうございます。
次に、今回の会議録署名委員は田中委員をお願いします。

田中委員 かしこまりました。

教育長 報告第1号教育状況について、私から報告します。第76回和歌山県美術展覧会について報告します。

12月10日から14日までの5日間、和歌山県立橋本体育館において、第76回和歌山県美術展覧会、県展が行われました。洋画部門、日本画部門、書部門、写真部門、工芸部門、彫塑部門、華道部門の7部門において、入賞・入選作品の展示がありました。土日には、400名を超える方が来場され、関心の高さを感じる県展でした。

この県展に併せ、第8回ジュニア県展2022も行われました。ジュニア県展は、絵画、書、立体の3部門です。中でも、絵画部門において、高野口中学校3年生の竹原大翔さんの「雑賀崎」が最優秀賞に選ばれました。作者のコメントに「受賞できてとてもうれしいですが、もっと上手になりたいので満足はしません。これからも絵を描くことを楽しみたいと思います。」とあり、頼もしい限りでした。

次に、児童生徒の活躍について報告します。

今年度、12月までに全国大会や世界大会に出場した橋本市の児童生徒は、50名を超えています。上位入賞を果たした生徒もいます。また、作文や研究などで、自分の考えをまとめたり表現したりすることで高い評価を受けた児童生徒もいます。学校での学びだけでなく、学校外の学びからこのような結果につながっていることもありますが、今年度は特に多くいた印象を持っています。また、特定の種目や分野ではなく、多様になってきています。嬉しい限りです。

次に、令和4年度高野口町青少年健全育成会標語入選者表彰式について報告します。

12月11日に、今年度の表彰式が行われました。2月に始まったロシアのウクライナ侵攻をはじめ、世界中で平和について考えさせられることがあった2022年です。新型コロナウイルスの感染拡大も3年になり、感染者数については第8波で増加傾向にもありますが、コロナ前の経済活動や社会活動が戻りつつある中、日常生活の大切さを改めて感じている状況にもあります。これらのことを受け、今年度設定されたテーマは、「平和」でした。小学生、中学生、一般から100近い標語の応募があり、その中から小学生10名、中学生6名、一般3名の、19名の作品が入選

に選ばれました。「平和」という一つのテーマについて、世代を超えて思いを標語に表現することで、私自身新たな気付きをもらいました。それは、大人が考える以上に、子どもたちにとってみたら、「平和」の種は身近なところにあるということです。標語に表現された言葉から、笑顔や思いやり、手をつなぐことや個性、そして個人の尊重が平和につながっていくのだという思いを持った子どもたちがいること自身うれしく思いました。また、大人の責任として、この思いを大切にすることをやっていかなければならないとも思いました。

このような地道な地域活動、共育コミュニティの活動が、青少年の健全育成につながっていると確信できた表彰式でした。

以上で教育状況について、報告を終わります。

このことについて、ご質問・ご意見はありませんか。

中尾委員

教育長もおっしゃっていましたが、私も長いこと県展を見せていただいています。最近は本当に児童生徒の活躍が多くて、ジュニア県展にいろいろ味のある工作等があり、見て回りましたが本当にびっくりできるコーナーでした。先程教育長もおっしゃいましたが、高野口中学校の竹原さんの「雑賀崎」の絵は本当に細かいところまで素晴らしいです。

改めて、子どもの目で見えた大人というものに感じるいろいろなありました。

それからもう一つ自慢になるのですが、先月ご報告させていただきました和田希良々さんの作文ですが、前は和歌山県で優秀賞でしたが、全国の中でも七つの賞がある中で全国保護司連合理事長賞ということで連絡いただきました。全国で32名が入賞をしていますが、和歌山県では橋本市だけです。本当に絵画にしましても、文章にしましても、橋本市はいつも素晴らしい作品を出していると思います。ご報告させていただきます。

教育長

ありがとうございます。嬉しいお知らせでした。

他にありませんか。

ないようですので、これで報告第1号を終わります。

報告事項が終わりました。続いて付議事項に入ります。

議案第1号令和4年度杉村奨学褒賞及び田中久美子すこやか褒賞受賞者の選考について、合わせて議案第2号令和4年度森脇慶一郎善行褒賞受賞者の選考について、一括で議題とします。

事務局から説明願います。

学校教育課

資料2-1ページをお開きください。

主任指導主事

議案第1号令和4年度杉村奨学褒賞及び田中久美子すこやか褒賞受賞者の選考について。このことについて、別紙のとおり委員会の議決を求める。

令和4年2月20日提出 橋本市教育委員会 教育長 今田 実

合わせまして、資料3-1ページをご覧ください。

議案第2号令和4年度森脇慶一郎善行褒賞受賞者の選考について。このことについて別紙のとおり委員会の議決を求める。

令和4年12月20日提出 橋本市教育委員会 教育長 今田 実

以上二つの議題につきまして、一括してご審議をお願いします。

推薦基準に基づきまして、各校から児童生徒の推薦がございました。

推薦基準ですが、本日お配りした資料の2-2ページをご覧ください。杉村奨学褒賞については、(1) 橋本市内の中学校に在籍し、学習意欲旺盛であり向学心に燃え、意思強固なもの (2) 知育、徳育、体育を通して学習に精励し、他の模範となる者 (3) その他特に褒賞に値すると認められるもの。

森脇慶一郎善行褒賞については、(1) 橋本市内の小学校・中学校に在籍し、学校生活・社会生活・家庭生活の面で、主体的に活動し、親切行為等を含め他の模範に足る事実のある者 (2) 学業成績は問わない。(3) その他特に褒賞に値すると認められる者

田中久美子すこやか褒賞については、(1) 橋本市内の小学校に在籍し、心身ともに健康で他の模範となるもの(2) 学習意欲旺盛であり、向学心に燃え、意思強固なもの (3) その他特に褒賞に値すると認められる者となっております。

あらかじめ候補者の推薦書をお送りしておりますので、一人ひとりの紹介を省かせていただきますが、各校から推薦されました児童生徒につきまして、一括してご審議のほどよろしくをお願いします。

なお、先にお送りして本日お持ちいただいた資料につきましては、会議終了後に回収させていただきます。よろしくをお願いします。

教育長

説明が終わりました。

議案第1号、議案第2号についてご異議ありませんか。

ないようですので、議案第1号、議案第2号について原案のとおり決することにご異議ありませんか。

異議なしと認めます。

議案第1号、議案第2号は原案のとおり決しました。

続いて協議事項に入ります。

委員の皆様からありませんか。

吉田委員

協議というよりお願いということで、お話させていただければと思って発言します。先月総合教育会議で全国学力テストについて、特に中学生の学力をどのように向上したらいいのかということで、皆さんからたくさん貴重な意見を出していただけたと思います。

ただその会議のたびに、こういった良い意見が出てきますが、やはり今後ともこれを実のあるものにしていくためには、やはり実行していかなければ結果が伴ってこないと思いますし、すぐに結果が出てくるものではないと思います。そういう中で今月3日の朝日新聞の記事で、ヨーロッパでは教員数が減少していることと、同時に質の問題が取り上げられていました。それを見て、やはり一度これはお願いしておかないと駄目だと思って今発言させてもらいます。教員の授業力の向上ということは、もうやっているといると思うのですが、特にこれから先を見た場合に、小学校教員の授業力ということは問題になってくると思います。

そういう意味では、当然行われていると思いますが、中学教員の授業力の向上、それをもう一度検討してもらい、実のあるものにしていただければ非常にありがたいなと思います。その結果をすぐに小学校に下ろしていただけるわけではないと思いますが、中学校でやっていただいたものは小学校で参考にしてもらえるとしますので、今中学生の学力というのが問題となっていますので、そのきっかけとして今お話ししてもらったことを少し考えていただければありがたいなと思います。協議ということではなく、あくまでお願いということにとらえていただければと思いますので、よろしくお願いします。

学校教育課 課長

ありがとうございます。今吉田委員が言われたことは、ずっと課題としてとらえて本市で取り組んでいるところです。やはり学力向上のためには、それぞれの先生の授業力の向上が一番大切であるということは認識しております。授業改善につきましても、毎年学校に指導訪問という形も行っております。

小学校教員については、授業改善というのが相当なされてきていると感じております。ただ課題にしているのは、やはり中学校の授業をどうしていくかというのは大きな課題としてとらえておりますので、その辺りを今年度は学校長に学力についてのヒアリングを行っておりますし、また来年1月にも、学校長を対象にした評価のヒアリングも行いますので、次年度の令和5年度に向けてそれぞれの学校にある課題というのをきちんと把握しまして、その辺りを来年度どうしていくかというのを学校長個々に話をしていきたいと思っております。以上です。

教育長

今吉田委員言っていたことは、本当にしっかり取り組んでいきたいと思っております。授業力を高めていくためには、しっかり良い実践を見る中で教員が話し合う場を持つていくことがとても大切だと思っております。

特に今若手教員が増えてくる中、基本的な授業の作り方などを具体的な場で教員が見て学ぶ、そして協議して更に深めるということが大切だと思っております。しかし、このコロナ禍の中で実際に集まって見てという場がなかなか持てておりません。そこで、今学校の中だけでも先生方相互の授業の参観などを取り入れながらやって欲しいということを各学校にお願いしているところですが、それにもやはり限界があります。今、コロナの感染施設は増えてきているところではありますが、今後は学校間、また違う地域に行ってそういった授業を見に行くといったことについてはできるだけ積極的に取り組んでいきたいと思っております。そんな中、昨日高野口中学校で、自主的に ICT 関係の授業公開というのをさせていただくことができました。市内の小・中学校から30名程度の教員が参加してくれたと聞いております。感染対策をしながらではありますけれども、徐々にですがそういった動きも出てきておりますので、取り組んでいきたいと思っております。

吉田委員

非常に難しい問題だとは思いますが、実績を上げていくための小学校教員の授業力を高める体制づくりというのは、もう近々国を上げての問題になってしまうと思いますので、それに先んじた形で取組みをよろしくお願いします。

